

## 新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成22年 2月 9日																								
		事業担当課		防災砂防課																								
<b>事業名</b>	くろさきさわ	黒崎沢2通常砂防事業	<b>補助・単独の別</b>	補助	<b>事業主体</b>	宮城県																						
	おおさきしなる こおんせんあざくろさき					宮城県																						
<b>施行地名</b>	大崎市鳴子温泉字黒崎地内				<b>管理主体</b>	宮城県																						
<b>根拠法令</b>	砂防法第13条																											
<b>事業の概要</b>	<b>事業目的</b>	<p>黒崎沢は大崎市鳴子温泉字黒崎に位置する溪流であり、平成20年6月14日の、岩手・宮城内陸地震により溪流山腹の大規模崩落が発生し、下流の人家5戸ならびにJR陸羽東線、市道等が被災を受ける可能性があったため、災害関連緊急砂防事業ならびに特定緊急砂防事業として採択され緊急対応を実施しているところである。</p> <p>しかしながら、流域内には現在も不安定岩塊が残留しており、今後も二次災害の発生が危惧されるため、通常砂防事業により、災害の再発防止を図るものである。</p>																										
	<b>事業内容</b>	山腹工 一式（擁壁工，法面工）																										
	<b>事業費</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ( )</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">内用地費</td> <td>[ 50 %]</td> <td>[ 50 %]</td> <td>[ %]</td> <td>[ %]</td> </tr> <tr> <td>1.50億円</td> <td>— 億円</td> <td>0.75億円</td> <td>0.75億円</td> <td>— 億円</td> <td>— 億円</td> </tr> </table>					全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ( )		内用地費	[ 50 %]	[ 50 %]	[ %]	[ %]	1.50億円	— 億円	0.75億円	0.75億円	— 億円	— 億円
	全体事業費		費用負担内訳																									
国			県	市町村	その他 ( )																							
	内用地費	[ 50 %]	[ 50 %]	[ %]	[ %]																							
1.50億円	— 億円	0.75億円	0.75億円	— 億円	— 億円																							
<b>事業期間</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="text-align: center;">事業期間</td> <td colspan="4">平成 22年度～平成 23年度 ( 2年間)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">用地買収着手予定年度</td> <td>平成 — 年度</td> <td style="text-align: center;">工事着手予定年度</td> <td colspan="2">平成 22年度</td> </tr> </table>					事業期間	平成 22年度～平成 23年度 ( 2年間)				用地買収着手予定年度	平成 — 年度	工事着手予定年度	平成 22年度														
事業期間	平成 22年度～平成 23年度 ( 2年間)																											
用地買収着手予定年度	平成 — 年度	工事着手予定年度	平成 22年度																									
<b>施設管理の予定</b>	宮城県が当該砂防施設を管理する。																											

事業の必要性	上位計画等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土木行政推進計画（宮城県土木部 平成12年策定 平成20年5月改訂）</li> <li>・ 黒崎沢砂防事業全体計画書</li> </ul>
事業の有効性	事業を巡る社会経済情勢等
	<p>○社会経済情勢</p> <p>昨今の集中豪雨等により、全国各地で土砂災害が多発しており土砂災害対策に対する社会の要請は今後ますます高まっていくと思われる。今年度においては14名の死者が出た平成21年7月の山口県防府市における特別養護老人ホームへの土石流被害等を受け、土砂災害の脅威と予防対策の重要性が再認識されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成18年発生件数1,441件、死者25名</li> <li>・ 平成19年発生件数966件</li> <li>・ 平成20年発生件数695件、死者行方不明者20名</li> </ul> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震による土砂災害発生当時は、下部人家2世帯12名が避難勧告の下避難をすることとなった。不自由な避難生活の経験や、家に戻った後の再度災害への危機感が高まっており、恒久対策への要望が非常に強い。</p>
事業の有効性	事業効果
	<p>○想定される事業効果</p> <p>事業の実施により、溪流（株）の人家5戸について、今後の地震・降雨に伴う土砂災害に対する安全が確保される。また、下流部に位置するJR陸羽東線ならびに電力施設（発電用取水路）等の重要な公共施設の安全が確保される。また地区住民の生活道路となっている市道が保全されることにより土砂災害発生時の安全な避難路が確保される。</p> <p>※保全対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人家5戸</li> <li>・ JR陸羽東線490m</li> <li>・ 市道580m</li> <li>・ 電力施設（発電用取水路）</li> </ul>

事業の効率的性	関連事業の概要・進捗状況等	<p>&lt;H20災害関連緊急砂防事業&gt;  事業概要：山腹工（切土工，盛土工，擁壁工，法枠工，ロックボルト工）  進捗状況：平成21年度完成予定（H20繰越）</p> <p>&lt;H21特定緊急砂防事業&gt;  事業概要：山腹工（切土工，盛土工，法枠工，ロックボルト工，ロックネット工）  進捗状況：平成21年度完成予定</p>																				
	代替案との比較検討	<p>被災想定範囲にJR陸羽東線や東北電力池月発電所の発電用取水路等が存在するため，移転等の代替案は実施困難である。</p>																				
	コスト削減計画	<p>地震により発生した土砂の撤去にあたり，当該土砂を現場内の盛土として処理することで，残土搬出に係る運搬費用等を節減する計画である。</p>																				
	費用対効果	<p>根拠マニュアル：治水経済調査マニュアル（平成21年2月改訂版）  社会的割引率：4%  便益算定期間：50年  基準年：平成22年</p>																				
	費用対効果	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">費用項目</td> <td>建設費</td> <td>150百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>150百万円</td> </tr> <tr> <td>現在価値（C）</td> <td>147百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">便益項目</td> <td>直接被害軽減効果</td> <td>2,104百万円</td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>2,104百万円</td> </tr> <tr> <td>現在価値（B）</td> <td>878百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比（B/C）</td> <td>5.97</td> </tr> </table>		費用項目	建設費	150百万円	維持管理費	-	総費用	150百万円	現在価値（C）	147百万円	便益項目	直接被害軽減効果	2,104百万円	総便益	2,104百万円	現在価値（B）	878百万円	費用便益比（B/C）		5.97
費用項目	建設費	150百万円																				
	維持管理費	-																				
	総費用	150百万円																				
	現在価値（C）	147百万円																				
便益項目	直接被害軽減効果	2,104百万円																				
	総便益	2,104百万円																				
	現在価値（B）	878百万円																				
費用便益比（B/C）		5.97																				

環境への影響と対策	地域指定状況等											
	なし											
環境への影響と対策	影響と対策											
	斜面对策における法枠工の枠内および盛土部分について、周辺森林環境に合わせ緑化する。											
総合評価	事業箇所評価結果											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂防事業（新規事業箇所）</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2位 / 2</td> <td>2 箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	砂防事業（新規事業箇所）		—	2位 / 2	2 箇所			
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)									
	砂防事業（新規事業箇所）		—									
2位 / 2	2 箇所											
対応方針												
事業実施												

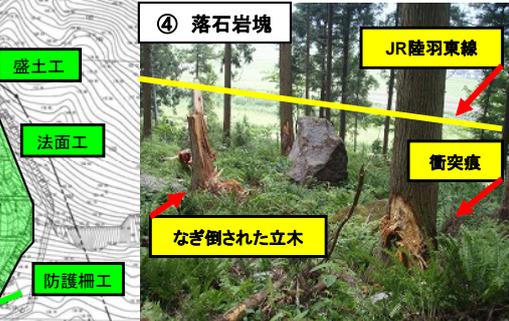
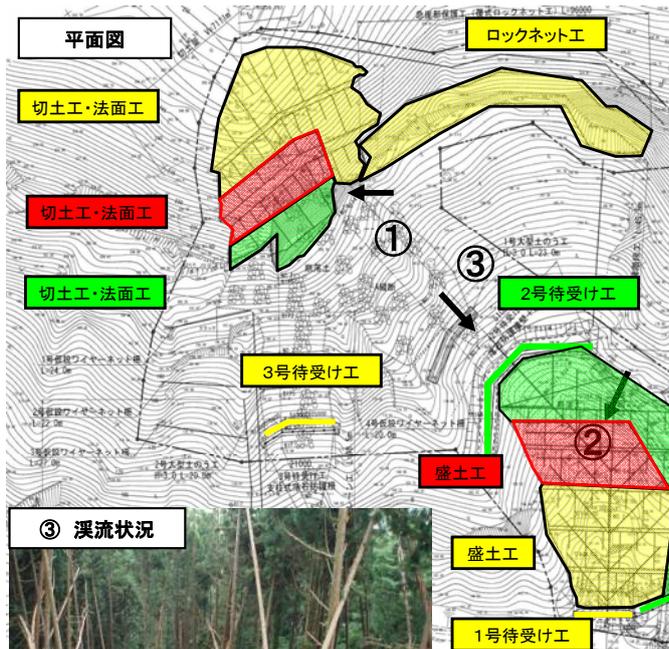
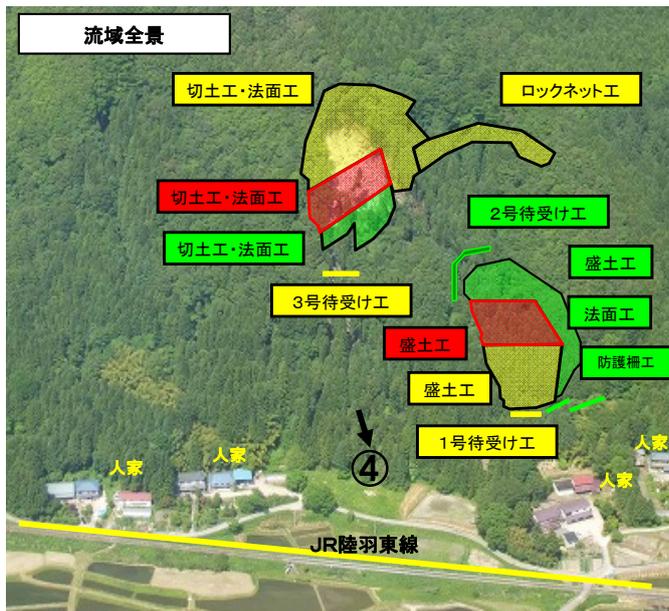
(参考資料)

きたかみがわ ころきさきわ  
**北上川水系黒崎沢2通常砂防事業 (宮城県大崎市)**

平成20年6月14日の岩手・宮城内陸地震において、斜面上部の岩盤が幅30m、高さ15m、厚さ5mの規模で崩壊し、災害関連緊急砂防事業として採択された。その後も特定緊急砂防事業を申請し、緊急対応を実施したものである。

流域内は現在も、不安定岩塊が残留しており、二次災害が危惧されるため、今回新たに申請する通常砂防事業により、災害の再発防止を図るものである。

溪流状況：斜面上部の溶結凝灰岩が幅30m、高さ15m、厚さ5m程度で岩盤崩壊にいたっている。  
 保全対象：人家3戸、JR陸羽東線 等  
**H22 事業内容：事業費 60.0百万円(国費30.0百万円) 主要工種 山腹工 一式**  
 全体計画：事業費 150.0百万円(国費75.0百万円) 事業期間 平成22～23年度  
 事業効果：人家5戸及びJR陸羽東線490m、市道580m、電力発電用取水路等の保全



- 【災害関連・特緊対応(H20～H21)】
- ・切土工、法面工、盛土工、1号・3号待受け工、ロックネット工
- 【通常砂防事業(H22)】
- ・切土工、法面工、盛土工
- 【通常砂防事業(H23)】
- ・切土工、法面工、防護柵工、2号待受け工